



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社
 コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,708	8.5	1,222	14.0	1,495	23.9	884	20.3
2020年3月期第3四半期	21,848	△2.3	1,072	△31.3	1,207	△39.3	735	△46.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 774百万円 (7.5%) 2020年3月期第3四半期 720百万円 (△46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	69.59	65.98
2020年3月期第3四半期	50.13	47.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,855	20,620	49.3
2020年3月期	34,967	20,418	55.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,635百万円 2020年3月期 19,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.7	1,650	△1.2	1,800	△5.1	1,100	△5.9	86.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	13,700,000株	2020年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	982,718株	2020年3月期	997,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	12,708,999株	2020年3月期3Q	14,663,425株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会経済活動が大幅に制限され、景気は急速に悪化いたしました。これに対し政府が行った各種政策や段階的な社会経済活動の再開などにより一部に持ち直しの動きも見られたものの、足元では感染が再拡大するなど、依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、主にファウンドリ向けの信頼性テストシステムや自動車関連向け等の受託サービスが低迷したものの、メモリー向けテスターの需要改善や決済端末の販売が堅調に推移した結果、売上高23,708百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益1,222百万円(同14.0%増)、経常利益1,495百万円(同23.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益884百万円(同20.3%増)となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限され、展示会等を活用した新規顧客開拓が難しい状況となりましたが、既存顧客を中心に積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、既存顧客からの受注や新規取り扱い商品の販売などにより堅調に推移いたしました。アイティアアクセス株式会社は、ライセンス販売が伸張したことに加え、決済端末の販売が大幅に増加いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、低迷していた国内主力顧客の需要に回復の兆しが見られたほか、海外事業の好調により増収となりました。一方、自社製CPUボードなどの組込み製品は、医療向けや防衛向けが堅調だったものの、FAやセキュリティ関連の需要減により減収となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、主要顧客である自動車関連の需要が減速したことや製品開発への集中投資などにより、前年同期実績には及びませんでした。また、株式会社レグラスは、AIカメラシステムの量産販売や画像処理関連の受託開発が低迷し減収となりました。

その結果、当事業の売上高は15,381百万円(前年同期比1.3%増)、セグメント利益は1,026百万円(同10.5%減)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場、モバイルデバイス市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発、商品の開拓に積極的に取り組んでまいりました。台湾のSTAr Technologies, Inc.は、中国国内の経済活動再開により中国向けの販売が回復に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による主要部品の供給難や韓国向けの需要一巡により、大幅な減益となりました。一方、自社製テストシステムは、メモリー向けテスターの国内需要が改善し、前年同期実績を大幅に上回りました。

その結果、当事業の売上高は8,326百万円(同25.0%増)、セグメント利益は603百万円(同119.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、39,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,888百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金やのれん、商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は19,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,685百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金や支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産は20,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は49.3%となり、前連結会計年度末に比べ6.2ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,335,546	6,922,947
受取手形及び売掛金	7,392,265	8,612,226
商品及び製品	2,762,420	3,395,643
仕掛品	568,944	1,046,452
原材料	543,471	808,580
その他	1,645,145	2,102,652
貸倒引当金	△4,373	△5,339
流動資産合計	19,243,419	22,883,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,250,949	8,473,185
減価償却累計額	△4,643,051	△4,799,208
建物及び構築物（純額）	3,607,898	3,673,977
土地	5,877,882	5,877,882
その他	2,639,034	2,991,047
減価償却累計額	△1,559,156	△1,828,905
その他（純額）	1,079,878	1,162,141
有形固定資産合計	10,565,659	10,714,001
無形固定資産		
のれん	567,864	1,431,070
その他	804,490	823,147
無形固定資産合計	1,372,355	2,254,218
投資その他の資産		
投資有価証券	2,013,424	2,035,818
その他	1,772,160	1,967,878
貸倒引当金	—	△45
投資その他の資産合計	3,785,585	4,003,651
固定資産合計	15,723,600	16,971,871
資産合計	34,967,020	39,855,034

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,408,485	2,674,831
短期借入金	2,773,200	5,538,711
1年内返済予定の長期借入金	566,664	563,356
未払法人税等	341,797	304,071
賞与引当金	261,110	410,762
役員賞与引当金	—	27,795
その他	3,769,699	5,243,075
流動負債合計	10,120,957	14,762,604
固定負債		
社債	2,200,000	2,200,000
長期借入金	1,391,674	1,353,316
役員退職慰労引当金	139,762	132,610
退職給付に係る負債	235,127	255,612
その他	460,824	529,968
固定負債合計	4,427,389	4,471,507
負債合計	14,548,347	19,234,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,506,361	4,473,786
利益剰余金	5,580,009	5,956,125
自己株式	△1,148,593	△1,131,665
株主資本合計	19,454,937	19,815,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,235	22,714
繰延ヘッジ損益	△48,060	△27,970
為替換算調整勘定	23,971	△152,781
退職給付に係る調整累計額	△30,779	△21,387
その他の包括利益累計額合計	△38,633	△179,424
新株予約権	277,867	277,048
非支配株主持分	724,500	707,892
純資産合計	20,418,673	20,620,923
負債純資産合計	34,967,020	39,855,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	21,848,336	23,708,507
売上原価	14,981,671	16,535,255
売上総利益	6,866,664	7,173,251
販売費及び一般管理費	5,794,085	5,950,261
営業利益	1,072,578	1,222,989
営業外収益		
不動産賃貸料	343,578	357,338
助成金収入	999	128,463
その他	80,891	136,001
営業外収益合計	425,469	621,802
営業外費用		
不動産賃貸費用	234,489	253,699
その他	56,381	95,857
営業外費用合計	290,871	349,557
経常利益	1,207,177	1,495,235
特別利益		
新株予約権戻入益	168	168
特別利益合計	168	168
税金等調整前四半期純利益	1,207,346	1,495,404
法人税等	392,182	559,845
四半期純利益	815,164	935,558
非支配株主に帰属する四半期純利益	80,022	51,085
親会社株主に帰属する四半期純利益	735,141	884,473

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	815,164	935,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,326	6,479
繰延ヘッジ損益	11,518	20,089
為替換算調整勘定	△118,259	△196,718
退職給付に係る調整額	2,182	9,391
その他の包括利益合計	△94,231	△160,756
四半期包括利益	720,932	774,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,387	743,681
非支配株主に係る四半期包括利益	78,545	31,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社モーデック及び Accel-RF Instruments Corporationの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。また、INNO MICRO HONG KONG LTD. は清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,187,882	6,660,453	21,848,336	—	21,848,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,299	16,533	31,832	△31,832	—
計	15,203,182	6,676,986	21,880,169	△31,832	21,848,336
セグメント利益	1,147,275	275,423	1,422,699	△350,120	1,072,578

(注) 1. セグメント利益の調整額△350,120千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△350,064千円及び棚卸資産の調整額△55千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,381,719	8,326,787	23,708,507	—	23,708,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,279	21,652	33,931	△33,931	—
計	15,393,998	8,348,440	23,742,438	△33,931	23,708,507
セグメント利益	1,026,406	603,942	1,630,349	△407,359	1,222,989

(注) 1. セグメント利益の調整額△407,359千円には、セグメント間取引消去14,287千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416,452千円及び棚卸資産の調整額△5,194千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。